

せいすい 生水だより

令和5年9月号
No.79

問上下水道部工務課・総務課 (☎79-2800)

< 県域水道一体化 よくある質問 >

Q: 生駒市の事務所や浄水場ってどうなるの？

令和7年度から奈良県下26団体の水道事業を統合し、共同経営を行う予定です(県域水道一体化)。県域水道一体化に関して寄せられた質問から真弓にある本市の事務所や浄水場の今後について回答します。

A: しばらくは現状のままです

構成団体の事務所は、企業団設立後、当分の間は存続します。業務の効率化や住民サービスの維持、緊急時の対応に配慮



しつつ、距離的中心性や建物の規模などを踏まえて、令和16年度までを目途に5エリア程度への集約を目指します。

浄水場は、真弓浄水場が存続し将来にわたって井戸水を活用することになりました。山崎浄水場の浄水機能の廃止は令和30年度以降のため、今後、20年以上は活用可能。これまでと同様に市内の深井戸と県営水道を水源として給水する体制に変わりはありません。



▲詳しくはこちら

真弓浄水場の機能



真弓浄水場では、市内21か所ある深井戸のうち9か所から地下水をくみ上げて、水中の細かい混ざりものを葉で凝集して沈め、その上澄みを急速ろ過して安全できれいな水にしています。一日あたり約7,000m³の処理能力があり、鹿ノ台配水場、ひかりが丘配水場、真弓配水場に配水しています。

Topic

災害時に備え 組立式給水タンクを配備します

受水槽がない避難所や受水槽があっても給水が困難な7つの避難所に組立式給水タンクを配備します。軽量で組み立てやすく、1,000ℓ※の水を溜められます。

組立式給水タンクには給水車で水を充填しますが、給水に来た人の整列やタンク内の残量チェックなどは、地域の皆さんでお願いします。これにより給水車は、その場にとどまることなく次の給水所へと巡回し、効率的な給水活動ができます。ご協力をお願いします。

※生命を維持するのに一人1日3ℓの飲料水が必要とされています。1,000ℓなら、100人で約3日分の飲料水を確保できます。



組立式給水タンク